

九州病虫害研究会

第92回研究発表会

プログラム

共催 日本植物病理学会九州部会
日本応用動物昆虫学会九州支部

2016年11月9日（水）

会場 グランデはがくれ

〒840-0815 佐賀市天神2丁目1番36号

TEL: 0952-25-2212

発表会場および進行予定

虫害 講演15分（1鈴10分、2鈴12分） 質疑3分（終鈴15分）

病害 講演10分（1鈴8分、2鈴10分） 質疑2分（終鈴12分）

虫害会場 (2F フラワーホール)		病害会場 (1F ハーモニーホール)	
9:00-11:30	No.1～10	9:00-11:00 11:00-11:50	No.1～10 受賞講演
昼休み			
13:00-13:30	日本応用動物昆虫学会 九州支部総会	13:00-16:50	No.11～23
13:30-15:00	特別講演		
15:00-17:00	No.11～17		

九州病虫害研究会

(The Association for Plant Protection of Kyushu)

<http://9byochu.sakura.ne.jp/main.html>

【講演にあたっての注意事項・その他】

・講演はWindows Microsoft PowerPoint 2000以上で作成したスライドを液晶プロジェクターで投影しながら行って頂きます。（パソコンは、予め会場に設置したものを用います。ご自身のパソコンは接続できませんのでご注意ください。）

・講演ファイルは必ずCD-ROMに書き込んでお持ち下さい。USBメモリは使用できませんのでご注意ください。

・ファイルの入ったCD-ROMは、午前・午後の開始前までに会場係に直接届け、作動の可否をご確認下さい。発表用パソコンへのインストールは、病害・虫害各会場係が行います。

・ファイル名は、講演番号(半角2ケタ)＋発表者氏名（例「03九州太郎」）としてください。

・虫害部会は、発表終了者に次の発表の座長を担当していただきます。
ただし、午前、午後の最初の発表については事務局で対応します。

・講演要旨は、本会ホームページ内に掲載しております。印刷してご持参下さい。

【九州病害虫研究会第93回春季研究発表会の開催お知らせ】

第93回春季研究発表会を下記のとおり開催します。

記

1 日時 2017年2月2日(木) 9：00～17：00（終了予定時間）

2 会場 菊南温泉ユウベルホテル
〒861-5517 熊本県熊本市北区鶴羽田3丁目10-1
(TEL) 096-344-5600

会場ホームページ (<http://kikunan-ubhotel.jp/>)

詳細については後日、当会ホームページにて掲載いたします。

病害の部

会場: 1F ハーモニーホールB

講演10分(1鈴8分、2鈴10分) 質疑2分(終鈴12分)

8:55

事務連絡

座長: 富高保弘 (九州沖縄農研)

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 9:00 | 小アジアとその周辺諸国におけるカブモザイクウイルスの拡散時期
○八坂亮祐・大島一里
(佐賀大農・鹿児島大院連農) |
| 2 | 9:12 | ノビルにおけるシャロット潜在ウイルスの初発生
○岡村輝太 ¹ ・八坂亮祐 ^{1,2} ・大島一里 ^{1,2}
(¹ 佐賀大農・ ² 鹿児島大院連農) |
| 3 | 9:24 | モザイク葉や果実変形を呈するパッションフルーツに感染している新種のポティウイルスについて
○犬童奏実 ¹ ・佐藤佑華 ² ・中村正幸 ¹ ・リスカ ^{1,3} ・千秋祐也 ^{1,4} ・澤岨哲也 ⁵ ・藤 晋一 ² ・岩井 久 ¹
(¹ 鹿児島大農・ ² 秋田県立大生資・ ³ 現インドネシア熱帯果樹研・ ⁴ 現中央農研セ・ ⁵ 沖縄農研セ名護) |
| 4 | 9:36 | イネいもち病菌におけるRecQ helicase MUSNのDNA損傷応答への関与
○田中寿樹 ¹ ・國吉真史 ¹ ・高崎恵利花 ¹ ・小川哲央 ¹ ・桑田 茂 ¹ ・大里修一 ¹
(¹ 明治大院農) |
| 5 | 9:48 | 数種市販キットの土壌DNA抽出効率の比較
○徳永隼一 ¹ ・菅野善明 ¹ ・寺原亮治 ²
(¹ 南九州大学環境園芸・ ² 宮崎草農試畑作) |

座長: 藤原和樹 (九州沖縄農研)

- | | | |
|---|-------|--|
| 6 | 10:00 | 非病原性<i>Ralstonia solanacearum</i> によるナス半身萎凋病防除効果の品種間差
○前原祥大 ¹ ・中原浩貴 ¹ ・森 太郎 ² ・松添直隆 ¹
(¹ 熊本県大院環境共生・ ² 滋賀大教育) |
| 7 | 10:12 | 非病原性<i>Ralstonia solanacearum</i> の植物内定着が青枯病菌の定着に及ぼす影響
○中原浩貴 ¹ ・森 太郎 ² ・松崎弘美 ¹ ・松添直隆 ¹
(¹ 熊本県大院環境共生・ ² 滋賀大教育) |
| 8 | 10:24 | <i>Xanthomonas axonopodis</i> pv. <i>glycines</i> によるツルマメ葉焼病 (新称)
○入江沙織 ¹ ・古屋成人 ¹ ・松岡 健 ¹ ・大貫正俊 ² ・佐藤豊三 ³ ・黒瀬大介 ⁴ ・土屋健一 ¹
(¹ 九大院農・ ² 九州沖縄農研・ ³ 生物研・ ⁴ CABI Europe-UK) |

- | | | |
|----|-------|--|
| 9 | 10:36 | <p>トマト斑点細菌病菌UPB139株由来β-L-アラビノフラノシダーゼ(XcvHypBA1)の基質特異性と遺伝子発現解析</p> <p>○森山夏織・古澤 慧・中村正幸・藤田清貴・岩井 久
(鹿児島大農)</p> |
| 10 | 10:48 | <p><i>Pseudomonas syringe</i> pv. <i>actinidiae</i> (biovar3)による異なるキウイフルーツ品種での被害程度</p> <p>○野口真弓・白石祥子・ロ木文孝
(佐賀果樹試)</p> |

11:00 平成27年度受賞講演

講演20分, 討論 5分

地域貢献賞

座長：山口純一郎 (佐賀農研セ)

「新発生野菜病害の病原および生態の解明とそれらの知見に基づく防除技術の開発並びに普及」

ー 日本植物病理学会九州部会の思い出と若い人へのメッセージ

日本農薬株式会社

松崎正文 氏

地域奨励賞

座長：岩井 久 (鹿児島大農)

「トケイソウ東アジアウイルス (EAPV) の分子生態学的研究」

鹿児島県農業開発総合センター

福元智博 氏

<休憩> 11:50～13:20 「講演会会場で植物病理学会九州部会幹事会を開催(12:00～13:00)」
(幹事会開催中は会場には入れません)

座長：菅野善明（南九州大園芸）

- 11 13:20 **大分県におけるシソモザイク病の発生実態調査**
○田中啓二郎¹・姫野和洋¹・安倍崇博²・後藤英世¹
(¹大分農林水研農業・²大分中部振興局)
- 12 13:32 **宮崎県におけるホオズキのウイルス感染率に関する圃場調査**
○早日早貴^{1,2}・臼井真奈美³・櫛間義幸³・黒木修一³・富高保弘⁴・寺本 敏⁵・竹下 稔²
(¹西臼杵支庁・²宮大院農工・³宮崎総農試・⁴九州沖縄農研)
- 13 13:44 **日本に発生するイネ縞葉枯ウイルス遺伝子型の簡易識別**
○大貫正俊・松倉啓一郎・真田幸代・松村正哉
(九州沖縄農研)

座長：森山美穂（熊本県農研セ）

- 14 13:56 **大分県における白ネギ萎凋病の発生病害調査及び防除体系の検討**
○世古雅一・田中啓二郎
(大分農林水研農業)
- 15 14:08 **オクラの苗立枯性病害に対するキャプタン水和剤と亜リン酸肥料の併用処理の効果**
○大城篤・安次富厚・山城麻希
(沖縄農研セ)
- 16 14:20 **ジャガイモ疫病に対する殺菌剤の雨中散布の効果確認事例**
○富濱 毅¹・菅 康弘²
(¹鹿児島農業総セ・²長崎農技セ)
- 17 14:32 **サトイモの葉における展着剤加用による葉害の発生**
○尾松直志・湯田達也
(鹿児島農総セ)
- 18 14:44 **パインアップル小果腐敗病抵抗性判別技術の開発**
○山城麻希¹・新崎千江美²・大城篤¹・安次富厚¹・竹内誠人³・諸見里知絵³
(¹沖縄農研セ・²宮古農水振興セ・³沖縄農研セ名護)

座長：菅 康弘（長崎県農林技開セ）

- 19 14:56 **佐賀内のタマネギべと病菌のメタラキシルに対する感受性低下**
○菖蒲信一郎・山口純一郎
(佐賀農研セ)
- 20 15:08 **湛水栽培と畑地栽培におけるサトイモ疫病の発生状況の比較**
○湯田達也・尾松直志
(鹿児島農総セ)

- | | | |
|----|-------|---|
| 21 | 15:20 | 改良DIBA法を用いたサトイモ疫病の低コスト診断法
○櫛間義幸・久野公子
(宮崎総農試) |
| 22 | 15:32 | 山野の落葉から分離される白絹病菌
○森田 昭 |
| 23 | 15:44 | マンゴー炭疽病を引き起こす<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> 種複合体の再同定
○安次富厚 ¹ ・澤峠哲也 ² ・大城 篤 ¹ ・山城麻希 ¹ ・佐藤豊三 ³
(¹ 沖縄農研セ・ ² 沖縄農研セ名護・ ³ 農研機構遺伝資源セ) |
-

15:56 閉会挨拶 (次期開催地幹事)

16:10 植物病理学会九州部会総会

虫害の部

会場: 2F フラワーホール

講演15分(1鈴10分、2鈴12分) 質疑3分(終鈴15分)

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 9:00 | 佐賀県内の施設栽培ナシ園から採集したハダニ類の各種殺ダニ剤に対する感受性
○白石祥子・口本文孝・野口真弓
(佐賀果樹試) |
| 2 | 9:15 | 長崎県のイチゴにおけるナミハダニの薬剤感受性
○平山千穂 ¹ ・大山知泰 ² ・北島有美子 ¹ ・藤友加里 ³ ・柴田真信 ¹ ・古場直美 ¹
(¹ 長崎防除所・ ² 長崎県壱岐振興局・ ³ 長崎農技セ) |
| 3 | 9:30 | 殺虫剤抵抗性遺伝子が異なるワタアブラムシに対する各種殺虫剤の殺虫効果
○松浦明 ¹ ・土田 聡 ² ・日高春美 ¹
(¹ 宮崎総農試、 ² 農研機構果樹茶業研究部門) |
| 4 | 9:45 | トビイロウンカのイミダクロプリド抵抗性選抜に伴う他剤に対する交差抵抗性と生活史形質の変化
○藤井智久・真田幸代・松村正哉
(九州沖縄農研) |
| 5 | 10:00 | チャノキイロアザミウマによるカンキツ果実の前期被害の多発要因
○口本文孝・白石祥子・野口真弓
(佐賀果樹試) |
| 6 | 10:15 | ツヤアオカメムシの休眠に伴う呼吸量の変化
○綱島彩香・糸山享
(明治大院農) |
| 7 | 10:30 | コナカイガラムシ類の土着天敵フジコナタマバエの発生活消長と野生寄主
○藤田将平 ¹ ・安達修平 ² ・Ayman K. Elsayed ² ・口本文孝 ³ ・白石祥子 ³
・徳田 誠 ¹
(¹ 佐賀大農・ ² 鹿大院連合農学・ ³ 佐賀果樹試) |
| 8 | 10:45 | 大分県の秋トマトほ場におけるネコブセンチュウ類の線虫種
○鈴木智範・山崎修一
(大分農林水研農業) |
| 9 | 11:00 | ネコブセンチュウ抵抗性を有する飼料用 <i>Sorghum</i> 属牧草の栽培による線虫被害抑制効果
○村田 岳・上杉謙太・高井智之
(九州沖縄農研) |

10	11:15	昆虫病原性線虫 <i>Heterorhabditis indica</i>の共生細菌における相変異制御スイッチ領域の塩基配列解析 ○木村貴志・吉田睦浩 (九州沖縄農研)
11	11:30	アワヨトウにおける熱ストレス順応性獲得の分子機構 ○松村崇志・早川洋一 (佐賀大学)
<休憩>	11:45～13:00	[講演会会場で日本応用動物昆虫学会九州支部総会を開催(13:00～13:30)]
特別講演 1	13:30	座長 田中幸一 侵入にともなうスクミリンゴガイとラプラタリンゴガイの個体群構造の変動 ○松倉啓一郎 (九州沖縄農研)
特別講演 2	14:15	座長 柿元 一樹 タイ国のトウガラシほ場における土着天敵と天敵温存植物を用いた持続的害虫防除 ○北村登史雄 (九州沖縄農研)
12	15:00	人工飼料を用いたオリーブアナアキゾウムシの室内飼育法の開発 ○吉田一貴・松田浩輝・徳田 誠 (佐賀大農)
13	15:15	ニホンクロタマゴバチは冷蔵・冷凍保存したツヤアオカメムシ卵にも寄生するか？ ○小沢有輝・糸山 享 (明治大院農)
14	15:30	不妊虫放飼法にX線照射は利用可能か～ナスミバエ不妊化の検討～ ○原口 大 ¹ ・鶴井香織 ² ・熊野了州 ³ ・金城邦夫 ¹ (¹ 沖縄農研セ・ ² 琉球大戦略的研究セ・ ³ 帯広畜大)
15	15:45	タイリクヒメハナカメムシの強化を目的とした天敵温存植物の評価 ○古嶋 慧・大野和朗 (宮崎大農)
16	16:00	スナップエンドウでの2種捕食性天敵利用によるアザミウマ類への防除効果 ○柿元一樹 ¹ ・安部順一朗 ² ・尾松直志 ¹ ・井上栄明 ¹ (¹ 鹿児島農総セ・ ² 西日本農研セ)
17	16:15	促成サヤインゲンのカブリダニ利用に関する研究 ○松比良邦彦・柿元一樹・尾松直志 (鹿児島農総セ)

- | | | |
|----|-------|--|
| 18 | 16:30 | 環境保全型水田におけるクモ類種組成の地理的変異
○田中幸一・馬場友希
(農研機構農業環境変動研究センター) |
| 19 | 16:45 | 九州沖縄農研構内水田土壌中におけるウンカシヘンチュウの
個体数推移2015～2016
○吉田睦浩・木村貴志・齋藤 彰・真田幸代・松村正哉
(九州沖縄農研) |